

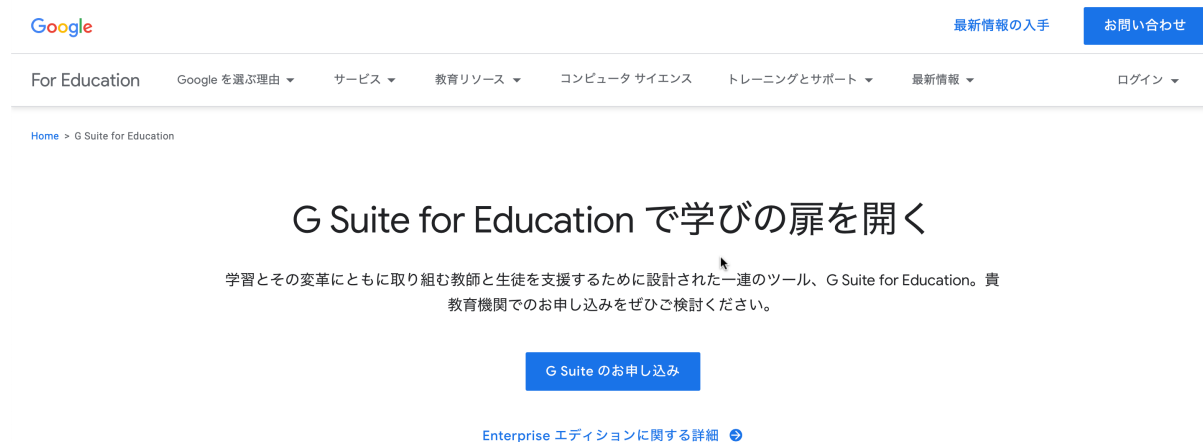
# G Suite for Educationのドメイン作成

ここでは、G Suite for Educationのドメイン作成の手順について、ご紹介します。

教育機関に携わる方々は、G Suite for Educationを無料で利用することができます。ただし、G Suiteの利用にあたっては、ドメインの作成が必要です。ドメインの作成は、有料となる場合がありますので、ご利用予定のドメイン管理者に直接お問い合わせください。

まずは、googleのG Suite for Education用ウェブサイトアクセスします。

[https://edu.google.com/intl/ja/products/gsuite-for-education/?modal\\_active=none](https://edu.google.com/intl/ja/products/gsuite-for-education/?modal_active=none)



「G Suiteのお申し込み」をクリック

G Suite

使ってみましょう

学生と教員の交流方法が変わります。G Suite for Education は対象となる教育機関の方々に無料でご利用いただけます。

教育機関用のアカウントを作成する手順をご案内します。

次へ

「次へ」をクリック

G Suite for Education

## 貴校・貴所に関する情報

機関名

infowgr@yamanashi.ac.jp

貴校・貴所で提供している教育の種類を選択してください  
ご不明な場合は詳細をご覧ください

- 初等または中等教育機関  
学区、小学校、中学校、高校を含む
- 高等教育機関  
大学、専門学校、大学院を含む

次へ

以降、必要な情報（所属校HPのURL,学校の規模，電話番号，住所，代表者の氏名及びメールアドレス）を入力していきます。

## 貴校・貴所のドメイン所有に関する情報

貴校・貴所用のメールと G Suite for Education アカウントを設定するには、[example.edu](#) のようなドメインが必要です。①

[使用できるドメインがある](#)

[ドメインを購入](#)



ドメインを新たに取得する必要があるかどうか、ドメイン管理者に直接お問い合わせください。

新たなドメイン購入が必要ない場合は、「使用できるドメインがある」をクリック

## 貴校・貴所のドメイン名を入力

貴校・貴所がこのドメインの所有者かどうか確認する方法を逃してご案内します。①

ご利用のドメイン名

yamanashi.ac.jp

例: [example.edu](#)

[次へ](#)



ドメインの入力をし、教育機関であることが証明されれば、G Suite for Education を利用することができます。ただし、その後の「ドメイン所有権の確認」が終わるまでは、トライアルの状態（G Suiteのサービスは基本的に全て使えますが、ユーザーアカウントは10名まで作成可）です。トライアルの期間（トライアルが始まっ

た日から14日間)が過ぎても「ドメイン所有権の確認」が完了しなかった場合、再度、「G Suiteの申し込み」をし直す必要があります。

## G Suite のドメイン所有権の確認

G Suite を使用するには、まずドメインの所有権を証明する必要があります。ドメインとは、ウェブアドレスの「www」の後に続き、「.com」や「.org」の前に表示される部分で、多くの場合は組織名です（例: [会社名].com、[学校名].org）。

ドメインの所有権の確認が必要な理由は、第三者が無断でそのドメインを Google サービスに利用（メール送信など）するのを防ぐためです。ドメインの所有権の証明が完了すると、G Suite サービスの設定を開始できます。

(googleサポートページからの抜粋)

詳細については、以下のgoogleサポートページをご覧ください。

### G Suite のドメイン所有権の確認

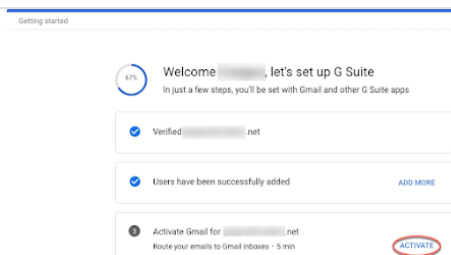
G Suite を使用するには、まずドメインの所有権を証明する必要があります。ドメインとは、ウェブアドレスの「www」の後に続き、「.com」や「.org」の前に表示される部分で、多くの

<https://support.google.com/a/answer/60216?hl=ja>

### Set up MX records for G Suite Gmail

Use MX records to verify your domain (if you haven't already verified it) and to set up Gmail as your professional email. After you've switched to Google's MX records, you can get

<https://support.google.com/a/answer/140034>



「ドメイン所有権の確認」につきましては、手続きが複雑になると思われます。設定方法等、ドメイン管理者に直接お問い合わせください。

ドメインの所有権が証明されると、管理コンソールは以下のように表示され、正式に利用を開始することができます。

Google Admin ユーザー、グループ、設定を検索

管理コンソール

**ユーザー**

ユーザーまたはログイン用メールアドレスを追加する

ユーザーの削除

ユーザーの名前またはメールアドレスを更新する

メールアドレスを更新すると、以前のアドレスは自動的に予備のメールアドレスになります。 [詳細](#)

予備のメールアドレス (メール エイリアス) を作成する

既存のユーザー向けに追加料金をしで追加できます。 [詳細](#)

**ディレクトリ設定**

ユーザー プロファイルの編集オプションを更新する

ユーザーが各自のプロフィール (プロフィール写真など) を更新できるようにします。 [詳細](#)

**ドメイン**

プライマリ ドメインを変更する

組織のユーザーが新しいドメインにログインできるようにする場合におすすめます。 [詳細](#)

メール専用ドメイン (ドメイン エイリアス) を追加する

追加のメールアドレス用のドメインが必要な場合に便利なオプションです。 [詳細](#)

セカンダリ ドメインを追加する

一部のユーザーが組織に関連する別のドメインにログインできるようにする場合に便利です。 [詳細](#)

**ダッシュボード**  
組織に関するインサイトを表示します

**ユーザー**  
ユーザーを追加、管理します

**グループ**  
グループとメンバーリストを作成します

**組織部門**  
組織部門の追加、削除、名前変更、移動、検索を行います

**ビルディングとリソース**  
ビルディング、会議室、リソースを管理、確認します

**デバイス**  
デバイス上の企業データを保護します

**アプリ**  
アプリとアプリ設定を管理します

**セキュリティ**  
セキュリティ設定を作成します

**レポート**  
組織内での使用状況を監視します

**お支払い**  
サブスクリプションとお支払いを管理します

**アカウント設定**  
貴社に関する情報を更新します

**管理者ロール**  
管理者ロールを管理します

**ドメイン**  
ドメインを管理します

**データの移行**  
移行を管理します

**ルール**  
組織を効率よく管理するためのルールを作成します

**サポート**  
サポートチームと話す

Google Admin 検索

お支払い

登録

**G Suite for Education** 登録は無料です アクション ▾

サービスを有効にする

**Google Voice Standard** [詳細](#)

Standard プランはあらゆる規模の国内企業が対象です。従業員には、ノートパソコン、スマートフォン、固定電話のいずれからでも使用できる電話番号が提供されます。このプランのサービスも Hangouts Meet や Google カレンダーと連携されているほか、近日にさらに多くの G Suite サービスと連携予定です。人工知能による迷惑電話対策やボイスメール音声文字変換のほか、マルチレベルの自動応答といった高度な機能をご利用いただけます。さらに、企業向けの SLA を結び 24 時間 365 日体制でサポートを行っているので、安心してご利用いただけます。